



ニュースレター あすか

2009
11月号

通算200号

2009年11月1日

みなさまのお声を聞かせてください

- CS・クレド委員会の活動報告 -

医療法人あすかでは、最善な医療、看護、介護を提供することを使命としています。患者様やご利用者様が気持ちよく安心して、あすかの医療施設や介護事業所をご利用いただけるよう、職員一同おもてなしの心を醸成していくため、現在、CSクレド委員会でクレド(信条)を作成しています。

クレド作りの過程の中で、患者様、ご利用者様に「信頼とやすらぎ」を感じていただけるよう、そして、どんな時でも、心のこもった、優しくて温かいケアを行っているよう委員会活動を行っています。又、基本マナーを身につけ、気くばり、心配りができるように、CSクレド委員を中心に活動を展開しています。

そこで、より身近に皆様のお声が聞けるよう、ご意見箱を設けることになりました。ぜひ皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。それに対する反省、改善を続けていきたいと考えています。

尚、ご意見箱は、みどりい新館1Fのエントランスホールとあすか療養センター1Fエレベーター横に設けています。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

CS・クレド委員長 今中 峰三子

ご意見箱を
設けました
(10月13日から)



“みなさまのお声を聞かせてください”

医療法人あすかでは、最善な医療、看護、介護を提供することを使命としています。患者様、ご利用者様に「信頼とやすらぎ」を感じていただけるよう、そして、どんな時でも、心のこもった、優しくて温かいケアを行っているよう委員会活動を行っています。しかしながら、行き届かないところもあると存じます。みなさまのご意見やご要望をいただき、改善を図りたいと考えています。平宜なお声を聞かせていただけますようお願い申し上げます。

ご記入日 平成21年 月 日

1) 施設、設備、環境、運営などについてご意見やご要望をお書きください。

2) 忘れたいことや、不満な点、改善したいことがあれば、ほしかったおサービスや、具体的な要望が実現したらお書きください。課題に仕事に取り組んでいく機会も出てきます。

3) 何かのきっかけで気づかされた職員が、ほしかったおサービスや、みどりい新館の運営の改善がよりよい仕事につながります。

4) 個別のご意見が必要な場合は、下記にお名前、連絡先をお書きください。ご不便をおかけする場合があります。

お名前:

ご連絡先:

ご協力ありがとうございます。

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

【目次】

【ページ】

1. 書評：「死ぬときは苦しくない」……………2
2. リフレッシュ・タイム
3. くもん学習療法 No.2……………3
4. ~老人性難聴と補聴器 No.1~
5. あすか事業所だより……………4
6. あすか事業所だより……………5
7. おもしろきかな我が人生
~一川 優子さん……………6
8. 若竹句会 9月作品抄……………7
9. あすかスタッフに迫る！……………8

※ 読書の秋

死ぬときは苦しくない

永井 友二郎著

昨年11月、地区医師会主催の学会で、40年前に実地医家の会、「プライマリー学会」を設立された永井友二郎先生のご講演「医の心 地域医療にどのように生かすか」がありました。90歳になられた永井先生はとてもし強いお声で、ご自分の人生体験から導きだされた哲学、信念を語ってくださいました。1時間40分があつという間に過ぎてしまいました。

「ご講演の要旨を紹介すると「死ぬときは苦しくない」人間は死の時は苦しくない。これは、人間は本来備えている素晴らしい機能である。戦時中の九十九死に一生を得て生還された先生の体験と友人医師からの聞き取りで人間は臨終のときには呼吸と心臓の拍動が止まるよりもずっと前に意識がなくなり苦しみや痛みはほとんどないということが分かった。

医の心(医療の原点)とは、最初から最後まで病人本意であるべき。そのためには、

あるがままに生き、それを自分にとって一番よいこととして受け入れる



(講談社・1500円)
ながい・ともじろう

ながい ともじろう <経歴>

- 1918年 生まれ。
- 1941年 千葉医科大学卒業後、
- 1942年 海軍軍医中尉として太平洋戦争に出征、九十九死に一生を得て生還。戦後、成田赤十字病院内科医長を経て、
- 1957年 永井医院を開業。医者中心ではなく、患者中心の医療を目指す
- 1963年 実地医家のための会、
- 1978年 日本プライマリ・ケア学会設立。
- 1988年 日本医師会最高優功賞受賞

人間の治癒能力を最大限に利用することが大切
言葉を大切に
病人の人權を尊重する。話を良く聞き、法と倫理を学ぶ
など私たち医師にとっても心に沁みることばかりでした。ご講演が終わった後、私は、素晴らしいものに出会った感動で心がいっぱいになりました。そしてとても幸せな気持ちになりました。

早速、先生のご著書「死ぬときは苦しくない」を購入して読みました。本の前置きには、ボストン美術館のゴーギャンの油絵の大作「われわれはどこから来たのか・何者なのか・どこへ行くのか」を引用し、人間にとって、もっとも本質的なテーマ「生と死」について先生の体験、宗教観、人生観などのさまざまな視点から分かりやすく書かれています。先生がもつとも読者に伝えたかった、「死ぬときは苦しくない」とあるがままに生き、それを自分にとって一番よいこととして受け入れる「心構えについて」のメッセージが説得力を持って伝わってきます。

この本はわたしのこれからの人生の折ふしに心の安らぎと指針を与えてくれる1冊としていつも手元においておきたいと思えます。

副院長 高橋 真弓

リフレッシュ・タイム

しゅりあ・野ばらでアロマテラピーをはじめました。

アロマテラピーは「芳香療法」と訳され、植物から抽出された「精油」を利用します。植物100%の香り「精油」で、心身をリラックスし元気づけることを目指します。

アロマを取り入れた『リフレッシュ・タイム』では、ご利用者様にゼラニウムやラベンダーなど好きな香りを選んでいただいています。いい香りに包まれ、足浴・手浴・オイルを使ったハンドマッサージなどを行っています。アロマセラピストによる、オイルを使ったハンドマッサージではご利用者様から「気持ち良くてリラックスするわ」「体が温かくなる」と好評です。

また手浴のあとには、スタッフとネイルアートを行っています。血行の良くなった手に、好きな色のマニキュアを塗り、キラキラ光るワンポイント!!「見て!見て!きれいでしょ!」「こんなにきれいになって、どうでしょう!？」と笑顔で見せてくださいました。いい香りでやさしい時を過ごし、華やいだ気分になりました。



きれいにネイルアートしてもらおうと気持ちまで明るくなるわ!

くもん学習療法 No.2

4月末より学習療法を開始して、5ヶ月がたちました。現在しゅりあちょーく12名、野ばら3名の、計15名のご利用者様が週2回を目安に実施されています。

最初は、学習療法の時間になると毎回声掛けをしてお誘いしていました。今では何も言わなくても、ご利用者様より「今日は勉強の日でしょ?」「もう行く?」などとお声をかけて下さいます。開始当初より学習のスピードも速くなり、皆様手慣れた様子で行われるようになりました。

また学習の最後に回想法を行います。以前よりご利用者様の緊張が取れた様子で笑顔も発言も多くなり、学習療法の時間が楽しいひと時となっております。

ご利用者様より「初めはこんな事して何になるんかと思ったけど、今は楽しくて何か頭にいい気がするんだよ。少しは賢くなったかね?」や「面倒くさいと思う時もあるけど、やってみたらやっぱりやって良かったって思うよ。スタッフとの話も楽しいしね」とのお声を頂きました。今後、よりスタッフのスキルの向上を目指し取り組んでいきたいと思っております。

来年1月分より、学習療法の料金が1600円から2100円に変更になります。ご理解の程、よろしくお願いたします。

くもん学習療法をされている利用者様には「学習療法学習費改定のお知らせ」を同封致します。



最初に名前・日付・開始時間を記入します。



声を出してたし算をさせています。真剣な表情です。



終了後、その場で採点を行います。全部100点満点でとびきりの笑顔!



数字版に挑戦! 同じ数字の所に磁石を置いていきます。

特集!

～老人性難聴と補聴器 No.1～

老人性難聴とは

人間は歳をとると耳がとおいになります。程度の差こそあれ、誰でも難聴になります。

老人性難聴は高い音から聞こえなくなり、ことばを聞き分ける能力が悪くなるのが特徴です。

ことばの聞き取りにあてはめると、アイウエオという母音は低音域でしっかりした音声なので、比較的よく聞き取れます。しかし、サ行やタ行などは高い周波数の音がキーポイントになるので、聞き間違いが目立つようになります。たとえば「さかな」が「あかな」に聞こえたりします。このような現象はラ行、ダ行、ガ行、パ行でもよくおこります。

人間の耳には雑音の中から音声だけを選択して聞く能力が備わっており、雑音の中でも会話ができますが、その能力も落ちていくので、にぎやかなところや複数の人との会話は苦手になります。そして、脳での情報統合力も低下しているため、ことばを認知し記憶に留めて話を進めることが難しくなって、会話が滞りがちになりやすいのです。

難聴に気づいたら

老人性難聴の最も重要な問題は、コミュニケーションがとれなくて社会や家族から孤立し、孤独になることです。そうならないために、早期発見と対処が望まれ、これには周囲の協力がが必要です。本人が気づかなくても(気付かないことも多い)気になることが重なったら、上手に聴覚の衰えを知らせ、家族の問題として取り組んでいくことが重要です。

老人性難聴の治療に有効な手立ては残念ながらないので、老眼鏡と同じように、補聴器を使用してよく聞こえるよう工夫します。

補聴器を使うと難聴が進むという不安を抱いている方もいるようですが、適切に調整していれば心配することはありません。

老人性難聴になると

- ・高い音が聞きづらくなる
- ・小さい音が聞こえない
- ・ことばが聞き分けられない
- ・早口が分からない
- ・聞き返しが目立つ
- ・にぎやかなところや複数での会話が苦手になる

▶ 次回は、補聴器についてです。

敬老会

ショートいわや

9/10



▲ みんなで合唱



けん玉対決
真剣勝負だ。ホイッ

敬老会では長寿者の方の紹介に、表彰状を贈呈させていただきました。「長生きしてこれたことは皆様のおかげです。」と、喜びの涙を流される一幕もあり、温かな雰囲気の中で敬老会は進行していきま



誰のお腹でしょう??

ショートみどりい

9/15

賀寿を迎えられた方5名に『お祝いの詞』をお贈りしました。その後、職員による余興を披露しました。今年、とにかく笑って楽しんでいただこうと『へそ踊り』と『安来節』を踊りました。音楽に合わせて、ステージに出ると皆さんの笑い声がフロア中にあふれ、手を叩いて喜ぶ方、涙を流される方と笑いが止まらない様子で、終始大笑いでした。会が終了しても笑いがおさまらず賑やかな敬老会となりました。



今日は、ありがとう。
次は卒寿をめざすよ



安来節の始まりです

まやるちよーく

9/25

あんたがたどこさ ▶

手作りコースターを
頂きました ▼



あんたがたどこさでは、一緒に手を合わせたりつないだり、ふれあいながら全員で歌い、思わず涙ぐまれるご利用者様も・・・。
優しい秋の風が心地よく感じられる日の楽しいひと時でした。

今年の敬老会は、緑井幼稚園の年長組の皆さんが、歌のプレゼントを届けに来てくださいました。
秋の七草・青い空に絵を描こう・夕焼けこやけ・あんたがたどこさの歌をフロアいっぱい響き渡るくらいの元気な歌声で披露して下さい、まやるちよーく・かるやんちよーくは笑顔に包まれました。



▲ プロ顔負けの踊りです



ようできたねえ

感謝祭

野ばら

しゅりあちよーく

9/17



和菓子おいしいよ

今年、寿賀を迎えられる皆様に感謝の気持ちをこめて、感謝祭が行われました。「まあ、思いがけんことじゃけえ、びつくりしたよ。」とお祝い状を手に微笑まれる方もいらつしゃいました。

ゲストの第一タクシーさんには、和やかなハーモニカ演奏と、安来節のどじょうすくいを披露いただきました。楽しい踊りに皆様大笑い！拍手喝采！！続くスタッフによる、バリンアートではご利用者様も一緒に挑戦。作成中に割れてしまう風船の音に驚き格闘され、かわいい犬やキリンが完成しました。

また第一タクシーさんが、ご利用者様へタオルの贈呈、しゅりあちよーく・野ばら用に車椅子1台寄贈をしてくださいました。大切に使用させていただきます。



驚きのヨーヨー

今夏の納涼イベントの最後を飾る、地元毘沙門商店街の『星空祭』に出かけました。間もなく9月を迎える時期ながら、まだまだ残暑厳しく多くの人出で賑わっていました。

「つどいの家」のご利用者様も、昔懐かしいポン菓子に舌鼓を打ちながら、超現代的な光るヨーヨーに驚きつつ、「一緒に遊ばれたそれぞれのご家族とともに往く夏を満喫しておられました。

同行したスタッフも、ご利用者様の各々のほころんだ笑顔に、「元気であればこんな楽しい時間が過せる、来年の今頃、また来よう」と、密やかな想いを垣間見たよつで、満天の星空の下、楽しいひと時を共有できたことに、感動と喜びを感じました。

星空祭

つどいの家

8/29



まあ楽しい!



イベントの花

野ばら
いちかわ
一川

ゆうこ
優子さん



おもしろきかな我が人生



大正9年9月6日(89歳)

好きな食べ物...甘いもの

「食べること事が
大好き! 元気の秘訣ね」

幼少時代、朝鮮から日本へ

私はね、朝鮮の釜山で生まれたのよ。兄弟はだ〜れもいなくて一人っ子。兄弟がないから寂しいよ。相談する人がいないからねえ。朝鮮での父の仕事は、関釜連絡船にお魚を納める仕事だったんよ。だけれどね私が6歳くらいの時に、父親が亡くなつてね。父の事は、私がまだ小さかったからあまり覚えてないんだけど、男としては優しい方だったと思うよ。母はね、怒ったりせず優しい人だったね。父が亡くなって、母方の親が「娘を釜山に一人置いておくのは心配だから帰ってきなさい」と言う事で、広島に母と一緒に越して来たの。母方の親の名前は園田、園田でお世話になることになったの。だから小学校の1年生だけは朝鮮の釜山で、2年生からは広島に母の小学校に行きだしたのよ。

小学校を卒業後

小学校を卒業したらね、私は商業を選んだの。すぐに就職できる利点があったの。すぐに就職したかったのはね、いつまでもおじ、おばのお世話にならずに働きたいと思っていたの。一人っ子だから何にも役に立たないよね。唯一出来たのは、お掃除くらいかな。

広島女子商業へは祇園から歩いて比治山の山越えをして南段原・・・と言うように長い道だったね。それでもね、祇園のおばの家から毎日通ったのよ。考えてみたらすごいよね、今はもう歩けないねえ。

そうそう時々ね、大手町にいる母の所に遊びに行くのが楽しみだったの。再婚したんだけど、相手が結核にかかってしまつて、1、2年で亡くなったの。あの頃は結核が流行つてたからねえ。看病も精一杯してたけど駄目で、又母は一人になつてしまつたの。寂しかったらだろ〜うけど、母も尾長にあつた子どもたちを見る施設に勤めてたからね。大変だったみたいよ。そういうえ母の所に泊まる事はなかったね。泊まりたかつたのが本音だけだねえ。本当に私は母が恋しかったのよ。だけどうろ〜うがないよね。

就職、結婚

私はね三原の帝人に勤めたのよ。紡績工場よね。寮に入って仕事に行つたのよ。女子商の子はここへ入る人が多かつたの。大きな工場だったね。こ

こにね、何年か勤めて結婚したんよ。もちろん昔の事だからお見合いだったのよ。結婚して一川になつてからは、今の安東の家で暮らしてるのよ。主人は大分年上の人でね、とても優しい人だったね。私の周りは本当に優しい人が多かつたねえ。恵まれてたのかしらね。

好きな事

私はね、本当に字を書く事が大好きだったの。お習字とか、本とかいろいろな事を写したりしてたね。暇さえあれば本当によくやつてたわ。

私が一番嬉しかった事はね、ええ具合に書けたお習字を貼り出してもらった時は嬉しかったねえ。今もね週に一回は野ばらでお習字をしてるのよ。とっても楽しいの。私の生きがいだね。これからのんびり楽しくここで過ごしたいね。ここから見る景色が好きよ。

8ヶ月前から野ばらに参加されています。少人数でゆったりとした雰囲気を楽しんでいただいています。今は週に一回お習字や、おやつ作り、食事準備等、他ご利用者様と楽しく行つておられます。

いつも笑顔の素敵な一川様です。とても優しい口調でお話され、ご利用者様や私たちスタッフを和やかな気持ちにさせて下さいます。これからも、野ばらで楽しく過ごして頂きたいと思っております。

野ばら 佐藤 由美

若竹句会 九月作品抄



信廣高陽 選 (平成二十一年)

鈴虫の ミニコンサート 消すテレビ

小西 春良

〔寸評〕虫の鳴き声・合唱を、ミニコンサートとされたところが秀逸。初学のうちには、下五に「楽しいな」「うれしいな」を使いがちですが、「俳句は物で勝負する」と言われています。テレビを消してコンサートを聴いてみようという意気込みが感じとられます。

秋暑し かけこみ寺の デイケア

小西 春良

〔寸評〕「かけこみ寺」は、「縁切り寺」ともいい、鎌倉の東慶寺が有名です。立秋後の暑さ凌ぎに駆け込むデイケアを「かけこみ寺」とは奇抜ですね。きびしい暑さ故か。

親の辺に ちよっと色見せ 茗荷の花

常広 信枝

〔寸評〕昨年、この作品抄には「すくもの中に色を見せ」がありました。茗荷の花の写生が上手ですね。

花持ちて 初盆参り 語ろうね

常広 信枝

〔寸評〕人が亡くなって初めて迎える盆を初盆といいます。新盆見舞といって、訪問するのが礼儀になっているそうです。



西 富枝

たなばたに 逢えた感激 雨となり
〔寸評〕牽牛・織女の二星が年に一度の逢瀬を楽しんだという故事を句材に、感激の雨を降らせたという発想がすばらしいです。

立秋を 遠くに聞くも この暑さ

中谷 明子

〔寸評〕とくに立秋が過ぎたというのに、まだこの暑さ。「遠くに聞くも」の使い方が上手です。

盆支度 塔婆の数 又増えて

中谷 明子

〔寸評〕辞書によると「塔婆」は「供養追善のため墓に立てる。上部を塔形にした細長い板。梵字・経文・戒名などを記す」とあります。広島地方では、盆灯籠の代わりに板塔婆を用いるようになっていきます。盆支度の一つに、塔婆の必要枚数を数えますが、新盆を迎える人の確認に手間どることがありますね。「又増えて」に実感がこもっています

男性が 女にかわる 盆踊り

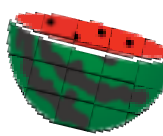
鍛冶 久子

〔寸評〕句会では「男性が女性にかわる…」にしたらという意見がありました。みなさんはいかがですか。女役に扮する場合「おんな」(女)のほろが お色気も感じられ、俳諧味(おどけ、たわむれ)があつていいと思います。

半割りの 西瓜家族で つつき合つ

鍛冶 久子

〔寸評〕半割りとは豪華版ですね。顔が埋まってしまうのでは? 「つつき合つ」が一家団欒で楽しそう。



熊本ハツエ

とんび舞い 秋空遠し いわや荘
〔寸評〕「いわや荘」は、新設のショートステイいわや。療養センターの屋上庭園からは素晴らしい景色が広がっているそうですね。

踊りの輪 下駄に浴衣に 豆しぼり

栗根 年雄

〔寸評〕盆踊りの句は、リズムがいいのち。よくぞまあ盆踊りの七つ道具をつまき並べて…。これならきつと尻込みすることなく踊りの輪に入れるでしょう。

灯籠は 元安川に ひしめきて

栗根 年雄

〔寸評〕夕闇が迫ってくる平和公園の一角。元安橋のすぐ上流の雁木には、火を入れた灯籠でこつた返します。絡み合ったり、ぶつかつたり。この様子を「ひしめきて」と表現したところがこの句の命。



休耕の 樽青田を 駆け巡る

信廣 高陽

選者 吟

あすかスタッフに迫る!

ショートみどりい

介護福祉士

下井 和美さん



Q あすかに入社して何年ですか? 入社のきっかけは?

A 5月で8年です。

前職では機械を使った仕事をしていましたが、人と、ふれあうのが好きでヘルパー2級の資格を取りました。ご近所の方が、まやるちよーくを利用されておられ、その方の勧めもあってあすかに入社しました。

Q 仕事をする上で心がけていることは何ですか?

A 全てのご利用者様へ声かけ・話かけをしてスキンシップを心がけています。介護に関わってその深さを知り、介護福祉士の資格を取りました。あすかでは、勉強する機会が多くまた、ご利用者様にも育てられています。よりよい介護をするため毎日努力しています。



Q 毎日かかさずしていることは何ですか?

A ガーデニングが好きで花やハーブを育てています。今はゼラニウムが咲いていて花殻をつむことで、次々に花を咲かせてくれるので、日々楽しみにしています。それから、本が好きで寝る前に読書をします。

Q 最近ハマっている事や好きな時間は何ですか?

A はまっていることは、韓流ドラマです。俳優の織田裕二さんも大ファンです。織田裕二さんの出演している映画やコンサートへ行ったりしています。孫(5歳・3歳)と一緒に公園へ出かけて虫捕りをしたりすることも楽しみな時間です。

スタッフの声

ご利用者様、ご家族様と話をされている場面は、とても和やかです。頼りがいがありスタッフからも信頼され、お姉さん、時にはお母さんの存在です。

インタビューー 岡田 真紀

3S

Specialist (専門家)

~ 医療法人あすかの理念 ~

職員は、医療、看護、介護の専門家(Specialist)としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です



Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し(Sympathy)必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全(Safety)に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

秋といえば、「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」今月は、本の書評を掲載させていただきました。また、しゅりあ・野ばらのご利用者様はリフレッシュタイムで、アロマセラピーにハンドマッサージ・ネイルアートとゆったりとした時間を過ごされています。秋の夜長、どうぞ皆様ご自分の好きなことを満喫してください。

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16
デイサービスセンター しゅりあちよーく
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちよーく
デイサービスセンター かるやんちよーく
通所リハビリテーション すてつぷ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか福祉用具貸与事業所
あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177
緑井3丁目20・1・103

高齢者の在宅療養を支援します